

第78号【2013/7/1 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

●巻頭言

『胎児・乳児と生活習慣病』

こどもセンター 准教授 北澤重孝

●医師の配属・異動・退職

●診療統計

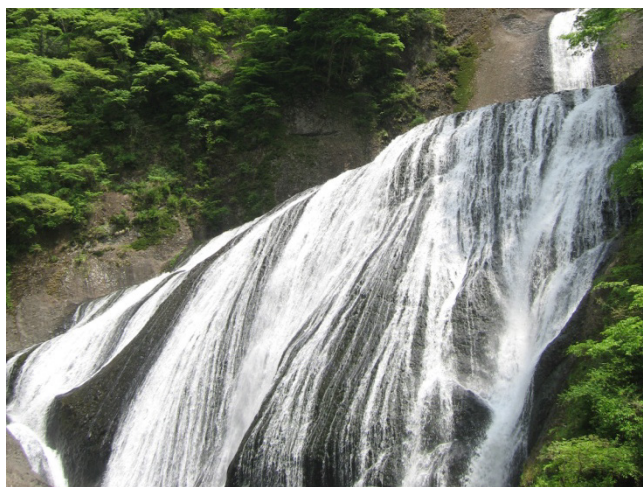
●地域医療連携室からのお知らせ

●TOPICS

●北部イベント

●患者さんへのお知らせ・お願い

●編集後記



もう夏本番ですね

巻頭言

『胎児・乳児と生活習慣病』



こどもセンター

准教授 北澤重孝

最近、NICU（新生児集中治療室）や新生児未熟児センターでメタボリックシンドロームが話題になるようになった。1980年代、新生児医療の目標は超低出生体重児（出生体重が1000gより小さな未熟児）を救命することであった。そしてこの救命の一つの鍵が感染症の克服と呼吸循環動態のコントロールであった。続く1990年代は世界的にヒトゲノム解読計画が進展した時代であった。これにより疾患遺伝子が同定され、遺伝子に基づいた診断ができるようになった。最もその恩恵を受けた分野の一つが周産期医療である。羊水細胞を使用した診断、母体血液を使用した診断、すなわち出生前診断ができるようになった。

しかし、単一遺伝子による先天性異常症はそれほど多くなく、ほとんどがまれな病気である。30年以上新生児医療に関わっていても初めてみる病気が多い。実際、世の中でよくみられる疾患、たとえば糖尿病などの生活習慣病を遺伝子で診断できるようにはなっていない。これら生活習慣病は原因となる遺伝子が一つではなく複数で、さらに異常な遺伝子がいくつあるかで発症するか否かが決まる多因子遺伝病であるからである。ところが2000年代に入りこのような生活習慣病の発生に関わるような遺伝子研究が進展した。疾患遺伝子といって同定されても、その疾患を有する患者のごく一部にしか変異が見つからない。そこで「エピジェネティクス」ということがいわれはじめた。

これは遺伝子DNA（塩基配列）上に変化がなくても、遺伝子機能が損なわれるメカニズム（エピジェネティクス）による異常で、このメカニズムで発症する疾患が見つかってきている。しかもエピジェネティクスは、最近、環境により変化するメカニズムであるといわれ始めた。

高齢化の世の中でよく見かける病気として成人病があるが、その代表がメタボといわれるメタボリックシンドローム（肥満、高血圧、脂質異常、インスリン抵抗性などの因子が複数集まった時に、脳卒中や心筋梗塞などのリスクが急速に増大する状態）であろう。最近の新生児学の問題の一つにメタボリックシンドロームがある。きっかけは英国のHertfordshireで1900年から1945年まで出生住民のすべての情報が細かく、正確に助産師の手で残されており、その地域が人の移動がそれほど多くなく追跡できたことである。1911年から1930年に生まれた15726人を対象に心筋梗塞による死亡率を出生体重ごとにみたところ、出生体重が小さくなるとともに死亡率が上昇する。出生体重と虚血性心疾患には明確な関連性があることが見いだされた。さらに幼児期（1歳まで）の発育状況も動脈硬化を引き起こす脂質代謝異常の重要な要因であることが明らかになった。もう一つの疫学的調査は第二次大戦時のオランダの飢饉である。ナチスドイツに包囲され極端な食糧事情の悪化のため低栄養になった妊婦から生まれたこどもたちが、将来、成人病になりやすかったというものである。これを説明するのがDevelopmental Origins of Health and Disease（DOHaD：ドーハッド）仮説である。DOHaDとは発達期の環境に応じて個体に発達期の可塑性（歪み）がおこり、それがその後の環境とのギャップが生じると異常が発生する。発達期（感受期）とは最大の時期が胎児期であり、幼児期である。胎児期の環境とは母体内環境であるが、その環境の異常の結果、子宮内発育不全（FGR）が生じ、早期産が起こる。特に在胎32週以下で生まれた早期産低出生体重児は、生後の環境（栄養の遅れ、感染症の発生など）合併症に暴露されるリスクが高い。たとえば、過度にダイエットした妊婦による低栄養環境下にいる胎児はエピジェネティクスにより俊約スイッチがONとなる。このようにして胎内に生き延びるためインスリン抵抗性を獲得して低出生体重児となり生まれる。一方、現代の日本では生後は高栄養環境下で育つ。このことがカロリー蓄積、成人期の肥満という不適応を生じる。子宮内発育不全と関連する疾患・病態として下の表のような疾患、病態がある。

一方、これらの調査は60年以上前の医学レベルでの話である。この時期の低出生体重児で以後60年以上生存したのは、正期産およびそれに近い在胎週数で生まれたこどもたちである。現在の24週～32週の早期産児、1000g未満の超低出生体重児を救命している新生児医療とは異なる医療環境下での疫学調査である。また子宮内環境を予想するマーカーとして出生体重、出生時身長、ボンテラリンデックス（身長、体重より算出した指数）を採用しているが、これらは子宮内環境の直接のマーカーではない。また暴露された低栄養の程度と時期により起こる疾病の形が変わってくることを理解する必要がある。

とはいっても、エピジェネティクスを変化させる得る環境要因として、まだ証拠は少ないが注目されているのが生直後の精神的ストレスである。これは動物実験であるが、生後母親から引き離された新生仔ラットでは、脳組織における精神ストレス耐性遺伝子のメチル化が増強し遺伝子の働きが悪くなり、その結果、行動異常を呈するようになったという報告（Weaver 2004）がきっかけになっている。こどもの精神発達には脳における適正な遺伝子のエピジェネティクス調節が必要であり、その先天的、後天的な破たんは精神発達障害を生じさせ得るとの考えも出てきている。母子分離の精神的ストレス、生後の侵襲的治療法による肉体的ストレスなど、新生児医療・小児医療でまだまだかけているのはcomfortable（ここちよい）という言葉である。私たちの課題はますます広範囲で困難になっているようだ。

1. 心血管系疾患

- ・血圧上昇
- ・耐糖能異常/2型糖尿病/妊娠糖尿病
- ・脂質異常（高コレステロール血症など）
- ・肥満
- ・血管の弾性低下
- ・甲状腺機能の亢進

2. 精神疾患

- ・統合失調症のリスク増加
- ・うつ病のリスク増加
- ・自殺のリスク増加

3. 呼吸器系

- ・気管支ぜんそくのリスクの増加
- ・気管支ぜんそくのリスクの増加
- ・COPDのリスクの増加

4. その他

- ・初潮年齢の早期化
- ・閉経年齢の早期化
- ・骨粗鬆症
- ・低IQ
- ・非妊率の増加

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

5月～6月

【新規採用】



工藤 孝毅
(消化器センター)
昭和大学
平成 19 年卒



平田 昌敬
(循環器センター)
岡山大学
平成 17 年卒



吉田 愛
(麻酔科)
琉球大学
平成 19 年卒

【附属施設より】



大槻 克文
(産婦人科)
昭和大学病院
産婦人科より



酒井 健
(救急センター)
藤が丘病院
整形外科より



伊東 亮太
(整形外科)
藤が丘病院
整形外科より



大熊 公樹
(整形外科)
藤が丘病院
整形外科より



林 圭一郎
(女性骨盤底再建センター)
藤が丘病院
泌尿器科より



東 美和
(産婦人科)
医学部
産婦人科学講座より

異動・退職医師

5月～6月

【附属病院へ】

- 中村 明央 (外科 ⇒ 豊洲病院)
□石原 陽平 (整形外科 ⇒ 麻生総合病院へ)
□入江 悠子 (整形外科 ⇒ 藤が丘病院整形外科へ)

- 松久 孝行 (整形外科 ⇒ 相模原病院へ)
□櫻井 茂 (循環器センター ⇒ 大学病院心臓血管外科へ)
□岡本 圭司 (整形外科 ⇒ 藤が丘病院整形外科へ)

【退職】

- 里館 均 (消化器センター) □宮原 貢一 (消化器センター)

診療統計

2013 年 4 月～5 月統計データ ()内は 1 日平均

診療実日数 4 月 (入院: 30 日・外来: 25 日)、5 月 (入院: 日・外来: 日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
4 月	31,795 人 (1,271.8 人)	17,968 人 (598.9 人)	363 件 (12.1 件)	669 件 (31.9 件)
5 月	31,050 人 (1,293.8 人)	17,357 人 (559.9 人)	267 件 (8.6 件)	644 件 (30.7 件)

地域医療連携室からのお知らせ

昭和大学横浜市北部病院は**地域の中核病院として**

高度な医療を提供してために地域の医療機関と役割分担を行っています。
そのため、患者さんに最適な医療を提供していくために「**かかりつけ医（ファミリードクター）**」を推奨しています。

また、病気の症状が安定した患者さんは服薬管理や生活指導をファミリードクターにお願いするため、再び紹介させて頂いております。

今回は都筑区の先生方をご紹介致しましたが、港北区・緑区・青葉区の先生方のプロフィールを順次ご紹介していきます。地域の医療機関の先生方の住所・診療時間・科目やドクターの人となり、得意分野などにもスポットをあてて紹介しています。“かかりつけ医”の情報源としてお役に立てれば幸いです。

(過去掲載分につきましては北部病院HPをご参照下さい。)

<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/guide/pr/press/>



※ご提出頂いた順で掲載しております。

小児科/アレルギー科/小児科皮膚科

東急田園都市線たまプラーザ駅よりバス10分(東急バス荏子田2丁目下車)

順伸クリニック小児科

青葉区荏子田2-2-9

TEL: 045-902-8818

<http://www.h3.dion.ne.jp/~junshin>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:00	●	●	●	●	●	●	◎	◎
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	-	-

◎の午前は9:00~12:00



院長 入戸野 博 先生

専門分野は小児栄養、消化器、肝臓病です。小児科外来にて母親の直面している悩みなどを聞き、言葉による子育て支援をしたいと考えております。

また、支援の一つとして開院以来、日曜・祭日も診療を20年間続けております。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 親切な医療
- 趣味/特技: 小児胆汁酸代謝の研究

眼科

JR十日市場駅よりバス10分

きりが丘眼科

緑区霧が丘5-25-4

TEL: 045-921-8022

<http://www.midorikuishikai.com/asp/doctor.asp?id=6639>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:00	●	●	●	-	●	◎	-	-
15:00~18:00	●	●	●	-	●	-	-	-

◎土曜日の午前は9:30~13:30



院長 成瀬 いく子 先生

- ・わかりやすい説明により、患者様にとって「何が一番大切か」を常に考えながら診療をしております。
 - ・眼科全般を扱っていますが、特に緑内障ではOCT(光干渉断層計)や過去のデータを一瞬にして比較できる装置を利用して、きめ細やかな治療を行っております。
 - ・2014年からはパターンレーザー(痛みの少ないレーザー)による網膜症の治療ができます。
- ※2013年5月～医院建て替え予定です。2014年～新診療所で診療致します。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: よりよい医療を目指し、つねに前進する事
- 趣味/特技: 旅行、犬と一緒に山を歩く事

新横浜循環器科・内科

港北区新横浜2-12-8扶桑ビル1F

TEL: 045-470-8545

<http://www.shinyoko-j.com/>

院長 向井 済 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30～13:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:30～18:30	●	●	●	●	●	●	-	-

- ・土曜日の診察時間は変更になることが多いため、来院前に確認して下さい。
- ・完全予約制です。必ずご予約ください。

循環器疾患とその原因である生活習慣病(高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肥満症)を中心に診療を行っています。ご来院下さる患者様のために、昭和大学横浜市北部病院などの大病院との連携によって質の高い医療と利便性を実現させています。

また、当院は完全予約制なので、患者様にとって便利で安心できる医院を目指しています。

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー:
- 趣味/特技:ウォーキング

眼科中井医院

青葉区美しが丘2-14-7

TEL: 045-905-5777

<http://www.nakai-eye.ecweb.jp/>

院長 中井 義幸 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:45～12:00	●	●	●	-	●	●	●	-
14:45～18:00	△	△	●	-	-	△	-	-

△月、火、土曜午後は予約検査、手術のみ

- ・白内障日帰り手術(あらゆる手術には対応可能です。他院で難しいといわれた方でもご相談下さい。)
- ・レーザー治療全般(屈折矯正以外)
- ・緑内障の診断、管理
- ・英語での診療(手術等も可能です)
- ・抗VEGF等の硝子体内投与
- ・コンタクトレンズは取り扱っていません

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: up to dateな診療を心がける
- 趣味/特技: コントラバス演奏(オーケストラ等で)

カトレアレディースクリニック

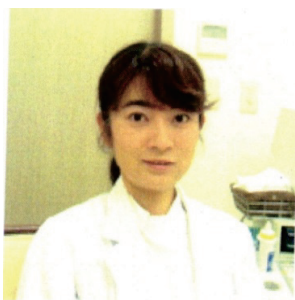
港北区新羽町1685

TEL: 045-540-8088

<http://www.cattleya-lc.jp/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:00	●	●	-	●	●	●	-	-
15:00～18:00	●	●	-	●	●	-	-	-

思春期から更年期・老年期まで、女性の一生にわたって健康サポートをいたします。いきいきと、美しいポジティブライフをおくるために、自分の体を知って、上手にコントロールできるようお手伝いいたします。



院長 浅見 美晴 先生

～院長先生に一問一答～

- 座右の銘又はモットー: 女性の一生を通じた健康管理をサポートします
- 趣味/特技: オリジナル手抜き料理の開発

ひろた内科クリニック

青葉区美しが丘1-23-1

Tel: 045-905-2405

<http://www.hirota-naika.com>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
14:30~18:30	●	●	-	●	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は14:00~17:00



院長 廣田 浩一 先生

関節リウマチと膠原病を専門とし、同分野において地域の中心的医療機関として貢献できる様努力しております。国内で関節リウマチに対して使用できる全ての生物学的製剤の治療が可能です。スタッフも全ての看護師がリウマチケア看護師の有資格者であり、全職員でリウマチ患者様を支えていけるよう体制作りに努めています。リウマチ以外にも内科、アレルギー科、呼吸器内科医として地域医療に取り組んでいます。

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 一期一会

■趣味/特技:

高田内科胃腸科医院

青葉区新石川2-15-11

Tel: 045-901-2348

	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:40~12:40	●	●	●	-	●	●	●	●
16:00~20:00	●	●	●	-	●	-	-	-

※早期検査は7:40より



院長 高田 亮 先生

- ・2名以上の医師で対応しているので、待ち時間が非常に少ない
- ・早期検査は7:40より、夜は8:00迄、日祝も午前中診療
- ・多列式CTスキャンを含め各種医療機器完備
- ・内視鏡でのポリープ切除も可。駐車場10台確保

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: CTではその日に、又カメラ等でも病をその日に報告

■趣味/特技: 無痛性、少しでも苦しまないよう心がけている(検査等で)

なみき内科クリニック

港北区篠原町1129岸根公園駅前ビル2F

Tel: 045-430-3005

<http://www012.upp.so-net.ne.jp/namiki-naika/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00~18:30	●	●	●	●	●	-	-	-

地域のかかりつけ医としての役割を主にし、専門的病院の窓口としての機能も充実していこうと考えております。



院長 並木 雅彦 先生

～院長先生に一问一答～

■座右の銘又はモットー: 暖かい医療を目指します

■趣味/特技:

石川こどもクリニック

港北区師岡町700-トレッサ横浜南棟1F

Tel: 045-533-5065

<http://www.ishikawa-clinic.net/>

院長 石川 清明 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	-	●	●	●	●	●
14:30～18:00	●	●	-	●	●	◎	◎	-

◎土曜日、日曜日の午後は14:30～16:30

当院は、ドレッサ横浜クリニックモール内にある小児科全般の診療を行うこどものためのクリニックです。予防接種、乳児健診、育児相談や喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患のご相談などこどもたちが笑顔で心身ともに健やかに育っていくためのお手伝いをしたいと考えております。病気のときに限らずお子様についてご心配なことがありましたら、どんなことでもお気軽にご相談ください。
※月・火・木・金 14:30～15:30は乳児健診、予防接種(予約制)です。

佳久医院

港北区日吉2-9-23

Tel: 045-562-0500

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00～18:00	●	●	●	●	●	-	-	-



院長 佳久 稔 先生

耳鼻咽喉科、東洋医学科の専門医。西洋医学と東洋医学を統合した診療を行っており、耳鳴・難聴・眩暈・咳嗽・咽頭痛・嚔声・鼻炎・副鼻腔炎・中耳炎等を主に漢方薬で対応しております。耳鼻咽喉科に限らず、内科一般、皮膚病等も積極的に診療しております。歯科を併設しております。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: Learning from patients

■趣味/特技:

やまがみ内科医院

緑区長津田みなみ台1-5-23

Tel: 045-988-2205

<http://yamagaminaika.com/>

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	-	●	●	-	-
14:30～19:00	●	◎	●	-	●	-	-	-

◎火曜日の午後は14:30～18:00



院長 山上 純 先生

20年以上冠動脈疾患の冠動脈形成術、ステント治療を行ってききましたが、動脈硬化が進んだ血管では、冠動脈ステント、バルーン形成術、冠動脈バイパス術を施しても治療に限界があります。ならば、動脈硬化を起こさないように積極的に高血圧、脂質異常症、糖尿病などを管理していけば、狭心症、心筋梗塞、脳梗塞などの血管病が予防できるはずとの信念で病院での循環器疾患のカテーテル治療を止めて、内科医院を開設いたしました。血管の動脈硬化をしっかりと抑えることで、生活習慣病の予防に取り組みます。

～院長先生に一問一答～

■座右の銘又はモットー: 治療より予防

■趣味/特技:

横山内科・消化器科

青葉区あざみ野1-8-2

あざみ野メディカルプラザ4F-2

TEL: 045-902-0711

<http://www.jade.dti.ne.jp/~syokoya>

院長 横山 聡 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	●	-	●	●	-	-
15:00~18:00	●	●	●	-	●	◎	-	-

◎土曜日の午後は15:00~17:00

苦痛の少ない胃・大腸内視鏡を行なうため、軽いsedationをかけて行なっています。又、胃内視鏡と大腸内視鏡同日施行もできます。

たかみざわ医院

港北区日吉本町1-23-5

TEL: 045-561-8641

<http://www.9.ocn.ne.jp/~taka-iin>

院長 高見沢 重隆 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-	-
15:00~19:00	●	●	●	◎	●	-	-	-

◎木曜日の午後は14:00~16:45(漢方予約外来)

総合内科専門医として内科全般の知識を有し、なかでも高血圧や循環器領域を専門としています。アトピー性皮膚炎に対する治療は症例数も多く、難治な方は土佐清水病院から取り寄せた「丹羽軟膏」や「超酸性水」などの特殊治療も行っています。また一般外来においても漢方を積極的に取り入れています。木曜午後には専門医を招き「漢方専門外来」も併設しています。その他に「禁煙外来」や片頭痛治療、AGA治療、認知症治療など幅広く行っており、

CKD(慢性腎臓病)においては昭和大学横浜市北部病院との連携も積極的に行っています。

～院長先生に一问一答～

- 座右の銘又はモットー: 赤ちゃんから高齢者の在宅医療まで、一家のホームドクター
- 趣味/特技:

田村内科クリニック

緑区十日市場町804-2

ホームストプラダ十日市場西館101

TEL: 045-989-6388

<http://www.tamuramedicalclinic.jp/>

院長 田村 信一 先生

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:30	●	●	-	●	●	●	-	-
15:00~18:30	●	●	-	●	●	-	-	-

胃内視鏡(経鼻からもしています)胃透視・腹部超音波音検査・骨密度・レントゲン・心電図等・プラセンタ注射・にんにく注射を実施しています。

また、積極的に在宅医療に取り組み地域住民の健康及び病気の予防に貢献しています。

～院長先生に一问一答～

- 座右の銘又はモットー: 笑顔で対応、地域密着型のクリニック
- 趣味/特技: ゴルフ、ウォーキング

昭和大学横浜市北部病院では 2012 年 7 月に Quality Indicator (QI) 委員会を立ち上げました。2013 年の公開を目標として、一般の方に理解されやすく、また医療の質向上に有益と考えられる指標を、(1) ストラクチャー、(2) プロセス、(3) アウトカム別、また部門ごとに検討してきました。

Donabedian (1919-2000) は 1966 年に発表した論文で『医療の質』は、

(1) ストラクチャー

構造：施設、医療機器、スタッフの種類や数など

(2) プロセス

過程：実際に行われた診療や看護の内容

(3) アウトカム

結果：診療や看護の結果としての患者の健康状態

の 3 つの側面について評価できることを提唱しました。

一方、米国医学研究所 (Institute of Medicine) によれば、医療の質とは「個人および集団に対する診療行為が望まれた健康状態をもたらす可能性の高さであり、かつ、最新の専門知識と合致する度合いをいう」と定義されています。「望まれた健康状態をもたらす可能性の高い、最新の専門知識と合致する医療」とは、根拠 (エビデンス) に基づいた医療 (Evidence-based Medicine ;EBM) に他ならず、医療の質とは、EBM に則った医療をどのくらい行っているかと言い換えることも出来ます。一方、実際の診断や治療の内容という専門技術的な質だけではなく、患者の満足度に代表されるような対人関係や快適さを中心に考えた医療の質も考えられます。

Quality Indicator (QI) とは具体的な医療体制、診療内容、診療結果から、このような医療の質を数値化した指標です。これを公表することにより、病院機能の定量的な可視化が可能となり、またこの指標をフィードバックすることにより客観的な指標に基づいて、医療の質の向上に取り組むことが出来ます。

これらの指標を継続的に検討することにより医療の質向上に努めるとともに、医学の進歩を反映する新たな指標の導入についても随時検討して行きたいと考えています。

◆服薬指導実施率◆

服薬指導 (薬剤管理指導業務) とは、入院患者さんの薬歴管理と服薬指導を介して、患者さんの薬物療法への認識を向上させ、また患者さんから得られた情報を医師にフィードバックすることにより、薬物療法を支援する業務のことです。1)

医薬品の適正使用には、患者へのアドヒアランス (患者が積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること) の向上が必須となります。入院患者における服薬指導の実施は、薬物療法における安全性確保および有用性に関与すると考えられます。服薬指導実施件数の割合は、患者の薬への理解を深めること、及び正しい服薬に有効であり、医薬品の適正使用 (安全使用) の指標とも言えます。



一 当院値の定義・算出方法

$$\frac{\text{【分子】 延べ薬剤管理指導患者数}}{\text{【分母】 延べ退院患者数}} \times 100$$

単位

%

一年次推移

2011 年度	53.5%
---------	-------

※参考値 34.9% 2)

参考地の計算方法

分子：500 床以上の施設における月平均薬剤管理指導算定患者人数

(指導 1 19 人・指導 2 229 人・指導 3 325 人) 合計 573 人/月×12 カ月＝6876 人

分母：500 床以上の施設における平均在院患者数 (772 人) ×365 / 平均在院日数 14.3 日＝19704.8 人

実施率：薬剤管理指導人数 6876 / 退院患者数 19704.8＝34.9%

当院値をどうみるか？

服薬指導実施率は 53.5%であり、日本病院薬剤師会の集計結果より算出した参考値 34.9% (平成 23 年度報告) より上回っています。指導割合が参考値を上回っていることは、医薬品の適正使用の向上により寄与していると考えられます。また、入院患者さんに対し、病棟に配置されている薬剤師が役割を明確化し、専門性をもって介入することが出来ているとも言えます。

“服薬指導実施率の向上と、病棟担当薬剤師の活躍”

当院では、全部署に担当の薬剤師を配置しています。ローテーションで薬剤師が変更になることもありますが、常に情報を共有し、カンファレンスにも積極的に参加する等、その活躍の場が拡大しつつあります。今後も、さらなる実施率の向上により、入院患者さんへの薬の理解や、安全なで正確な服薬管理の徹底を目指して、医師・看護師などの他職種へ必要な情報を適切に提供することに取り組んでいきたいと思っています。

<参考文献>

- 1) 公益社団法人 日本薬学会ホームページ 薬学用語解説
- 2) 日本病院薬剤師会総務部：平成 23 年度「病院薬剤部門の現状調査」集計結果報告
日本病院薬剤師会雑誌 2012;48(5)501-556

TOPICS

北部病院耳鼻科チームが神奈川トライアスロン大会で銅メダル獲得!

平成 25 年 6 月 9 日、第 27 回 NISSAN CUP 神奈川トライアスロン大会が横須賀市で開催されました。当院耳鼻咽喉科では数年前から毎年選抜メンバーで出場しています。

オリンピック正式種目でもあるトライアスロンは、近年人気の高いスポーツで、水泳→自転車→マラソンの順に行われる複合競技です。大会当日は晴天で気温 27 度、水温 22 度、スタートは午前 9 時 15 分、水泳 400m 担当は栗倉秀幸 11 分 29 秒（クラス 6 位）、次いで自転車 20km 担当、小松崎敏光 41 分 5 秒（クラス 2 位）、そして私（門倉）が担当するランニング 3km、12 分 9 秒（クラス 2 位）でリレー部門 3 位となり表彰台で銅メダルを頂くことができました。リレーであれば、得意種目ごとに 3 名で参加できますので、比較的エントリーしやすいと思われます。全国でトライアスロン大会が行われていますので、皆さまも参加してみたいはいかがでしょうか？初心者の方には海を利用しないプールで行われるトライアスロン大会もありますので、海より安全でオススメです。もちろん本来のトライアスロンは 3 種目を 1 人で行うものですので、自信のある方は一般の部（水泳 1.5km、自転車 40km、ランニング 10km）にエントリーして頂ければ、さらに楽しめますよ。

また、昭和大学では、様々なスポーツ大会における医療支援を行っており、世界トライアスロン大会や東京マラソンなど大きな大会に医師・看護師を派遣し救護を行ってきました。今回の様に時には選手として参加していますので、今後ともよろしくお願い致します。

文責 耳鼻咽喉科 門倉義幸



北部イベント

春季公開講座

5 月 11 日（土）、当院西棟 4 階講堂におきまして、春季公開講座〈暮らしと健康〉を開催いたしました。今回の公開講座は『関節痛とリウマチ・膠原病』、『がんに伴う苦痛と緩和』の 2 テーマで、84 名の方々にご参加いただきました。参加者からは、「疼痛治療やがんの薬について詳しく説明してもらえて勉強になった」、「緩和医療がさらに広がってくれば良い」、「膠原病について学ぶ良い機会になった」といった感想をいただきました。

平成 25 年度秋季開催分につきましては、詳細が決まり次第、院内掲示・ホームページ等でお知らせ致します。



教育委員会ワークショップ

平成 25 年 5 月 24 日（金）、第 1 回教育委員会主催ワークショップ『チーム医療』が開催され、医師、看護師、コメディカル計 24 名が参加しました。

ワークショップ前半はペアでコミュニケーションゲームを行い、コミュニケーションの基本を学びました。後半ではグループワークとロールプレーを行い、「チーム医療とはなにか」、「チーム医療を推進するために自分たちにできること」について意見を出し合いました。「情報共有、連携、信頼関係」といったキーワードが飛び交い、参加者の仕事に対する熱意や向上心が感じられました。他職種との交流を通して、それぞれがチーム医療の一員としてどうあるべきか、改めて見直す良い機会になりました。



「これから入院して手術を予定している」、「救急車で運ばれ、急遽入院が決まった」など入院生活が始まっていく中で病院に支払う医療費は、患者さまやご家族にとって解消しておきたい不安なことのひとつではないでしょうか？ その様な医療費に関する内容については、総合相談センターへご相談下さい。担当医からこれからの治療方法(手術・化学療法・放射線など)・入院期間などを目安に概算をご提示することが可能ですので、お早めにご相談いただき、不安や心配を少しでも解消できるお手伝いをさせていただきます。また、高額療養費制度・**限度額適用認定証**など**医療費の窓口自己負担を軽くする大変良い制度があります**。知っているのと得する重要なポイントになりますので、下記に例示致します。

【実際の例】

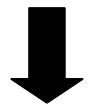


Aさんの場合

Aさんは北部病院に大腸がんの手術で14日間入院し、退院のお支払が下記の様になりました。(食事代は除いています)

総医療費が100万円の場合・・・病院窓口での自己負担額＝**30万円**

限度額適用認定証を使用すると



Aさん 50歳男性

保険自己負担額:3割

所得階層:一般

(8万100円+総医療費の1%)

※所得によって階層は違います

8万100円 + (100万円－26万7千円) × 1% = **8万7430円**

窓口での自己負担額が軽減されます。(1ヶ月毎の計算)



ちょっと耳よりな情報

限度額適用認定証を提示して頂きますと

- 医療費の窓口負担を軽減できます。
- 医療費が高額になっても自己負担限度額(月額)までのお支払いになります。
- 外来でも使用することが可能です。

限度額適用認定証は申請してから、お手続きに時間がかかる場合があります。入院日にはお手元に届くようにお早めの申請手続きをお願い致します。急な入院によって手続きが出来ない場合でも、入院中に申請手続きをしていただくことが可能です。

国民健康保険・後期高齢者医療保険にご加入の方は ⇒各区市町村役所、保険給付課にて
全国健康保険協会保険にご加入の方は ⇒全国健康保険協会にて
共済・組合保険にご加入の方は ⇒お勤め先の保険担当者にて

これから入院するけど手術費用ってどれ位？

入退院を繰り返した場合はどうなるの？

「**限度額適用認定証**」って何？



北部イベント

北部医学会臨時例会を開催しました

平成25年5月23日（木）に、「北部医学会臨時例会」を開催しました。
この会は、当院ご在職で医学界から注目される先生に、知識の手ほどきをお願いする、職員向けの勉強会です。

記念すべき第1回の開催となった今回、医学部長の久光正先生による基調講演と、消化器センターの佐藤好信先生の講演「臓器移植を中心とした臨床研究実績と昭和大学での抱負」をお話いただきました。参加者は肝臓移植の最先端を、固唾を飲んで聞き入りました。

今後も定期的に開催していく予定です。

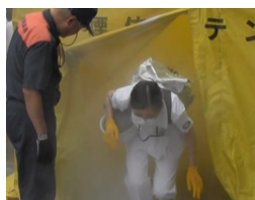
●今後の予定

第2回（6月） 「不整脈治療の最前線」 循環器センター 旗 義仁 先生

第3回（7月） 「消化器癌の化学療法 up to date」 内科 嶋田 頌 先生



平成25年度第一回消防訓練を実施しました



平成25年6月6日、都筑消防署の協力のもと平成25年度第一回消防訓練を実施し、130名余りのスタッフが参加しました。

中央棟8B病棟出火を想定し、出火元病棟での初期消火訓練と全部署からの避難訓練を行いました。都筑消防署の方からは「よく訓練されていました。実際に火災を発見した際には即時通報を心がけてください。」と講評をいただきました。また、避難訓練後は煙ドームでの煙体験、水消火器の操作訓練を行いました。

当院ではこのような全体訓練のほかに各部署でのコードブルー訓練や防災訓練を実施し、患者さんに安心してご来院いただける体制を強化していく予定です。

病院機能評価3rdG：ver.1.0を受審しました

平成25年6月27日・28日の2日間にかけて、日本医療機能評価機構による病院機能評価 3rdG：ver.1.0を受審しました。病院機能評価は、「病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組み」（日本医療機能評価機構ホームページより）です。当院は平成15年に最初の認定を受け、今回が2度目の更新受審となります。こういった取り組みを通し、病院としての質の向上に努めています。

4月に当院に着院し、はや3ヶ月がたちました。都筑の丘は残っていた桜の花が新緑にかわり、早い梅雨入りの後、空梅雨がつつぎ、台風も来ました。季節が廻るのは早いですが、中でも都筑の丘の新緑はとても鮮やかで印象的です。

この間、不慣れながらもいろいろな業務に携わってきましたが、5月の「2013世界トライアスロンシリーズ横浜大会」への当院のメディカルスタッフの派遣は、印象深い仕事でした。世界のトップアスリートはみんな精悍で、ある女性看護師は男子選手がバイクで疾走する姿を「カッコいい〜♡」と声援を送っていました。浮かれるだけではありません。次々と運ばれてくる怪我などの選手に対し、迅速かつ適切な処置等を行っていました。また、ランのコース上では、看護師たちが声をからして脱水症防止のための塩を配布していました。さすが当院のメディカルスタッフたち。

広報委員会 委員 大越 明

北部病院だより 第78号

平成25年7月1日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 大越 章吾(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL：<http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の

『病院だより』がご覧いただけます。